

2019 2

# CCIいみず

THE IMIZU CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY

新年経済懇談会  
牧田和樹会頭挨拶▶



射水商工会議所



◀新年経済懇談会  
祝謡「新湊めでた」を  
参加者全員で謡う

## CONTENTS

### p2～4 先月の事業 Pick up

複合交流施設建設（取得）について  
新年経済懇談会  
市内6団体新春懇談会  
ふるさと祭り東京

主な今月の動き

### p5～6 SERIES

### p7 インフォメーション

金融関係／主な公的金融制度の利率  
高岡法人会からのお知らせ  
地元消費で街を元気にしよう！  
ベストウィズクラブ特別表彰

### p8 突撃！インタビュー

決算・確定申告相談窓口のご案内

1/16水

## 複合交流施設建設（取得）について賛成多数にて承認



〈イメージ図〉

第一イン新湊において臨時議員総会を開催し、議案第一号射水商工会議所会館建設（取得）について原案どおり承認され、新会館の2020年6月の供用開始を目指します。

旧射水市新湊庁舎の跡地利活用については、平成24年9月に本所が策定した「新湊近未来構想」及び平成26年12月射水市が示した「庁舎跡地の利活用の方向性」等により、旧新湊庁舎の跡地と本所の土地を一体的に整備し、新湊地区の新たなにぎわいの創出や、豊富な観光資源を活かし安定的な交流人口を受け入れるため、射水市と本所等において、複合交流施設建設の早期事業化に向け多くの時間をかけ協議を行ってきました。

射水市は、平成29年度において旧新湊庁舎跡地利活用事業の公募型プロポーザルを行い、その結果、大和リースグループから公共・民間それぞれ別棟の複合交流施設の提案があり、それを踏まえ事業化に向け協議を進めてきましたが、昨年春に宿泊事業者から当該エリアへのホテル進出を検討しているとの情報もあり、射水市は宿泊機能も含めた複合交流施設整備の可能性について再検討を行い、施設機能や整備手法のあり方を関係者と協議した結果、平成30年8月に複合交流施設の建設は大和リースグループが行い、射水市が公共部門の床を大和リースから賃借し、本所と株射水ケーブルネットワークは床を区分所有で取得する方向で関係者の合意を得て、現在基本設計に基づく施設・設備の仕様の検討を行っているところです。



## 祝 議員勤続30年表彰



臨時議員総会に先立ち西谷義人常議員勤続30年表彰状を牧田会頭より授与しました。

本所の施設計画及び資金計画については、会館検討委員会（委員長 加治副会頭）に調査・検討を付託し、会館検討委員会は協議を行った結果、施設計画（案）、資金計画（案）、特別賦課金（案）等を策定。同案を昨年12月13日開催の常議員会、1月16日開催の臨時議員総会において提案し、原案どおり賛成多数により承認されました。

本所会館については、複合交流施設の民間部分の2階に設置します。建設規模については、ここ数年の経済情勢や、時代の変化に対応した産業振興の拠点施設としての適正な間取を予定しています。

1/16水

## 新年経済懇談会

第一イン新湊において、本所が主催する新年経済懇談会を開催しました。

第一部に射水市新湊地区出身の日本テレビホールディングス(株)取締役副社長の小杉善信氏をお迎えし「置かれた場所で咲きなさい」と題し、ご講演いただきました。制作会社の出向役員時代の自身の経験をもとに、人材育成の方法、ブランディング手法、リーダーに必要な資質など、経営に関する考え方についてお話があり、参加者からは自社の経営に活かすヒントになったという声が聞かれました。

第二部では、夏野市長、堂故参議院議員をはじめ、官公庁、国、県、市議会や関係機関、本所役員・議員など、143名が参加し、新春懇談会が開催されました。乾杯後には射水市指定文化財 祝謡「新湊めでた」を参加者全員で謡い開宴。地域経済の発展や、当地域の将来について活発な意見交換が行われ、大いに盛り上がりました。



▲日本テレビホールディングス(株) 取締役副社長の小杉善信氏による講演



▲夏野市長



◀堂故参議院議員



四方・永森・海老 県議により万歳 ▶



喜ぶほどに喜びは舞い込んでくる。  
喜び上手になろう。  
受け取り上手になろう。

書道家  
武田 双雲



## 1/7日 市内6団体新春懇談会

射水市の6団体主催の新春懇談会が、第一イン新湊で開かれました。

各団体間の連携を深めるため、市と市議会、市商工会、いみず野農協、新湊漁協と本所の6団体より約133名が出席しました。夏野市長、牧田和樹会頭他、団体の長よりあいさつのあと、吉野市議会議長の乾杯のあと、出席者は今年も相互の連携と射水市の更なる飛躍を誓い懇親を深めました。

1/11(金)  
~20日

## ふるさと祭り東京

「ふるさと祭り東京2019」が東京ドームにて行われ、射水市ふるさと物産協議会として(有)へちま産業、(有)鈴香食品、(有)京吉、(有)丸龍庵、川口食品が出店しました。



10日間にわたり約42万人の来場者が日本各地のふるさとの魅力を楽しんでいました。当協議会のブースにも多くの方に足を運んでいただき、射水の魅力発信に貢献しました。

## 〈会議所〉主な今月の動き

2/2	土	青年部2月度特別例会	2/14	木	射水産学官金交流会
2/5	火	地域うまいもんマルシェ 出店	2/15	金	女性会新年会
		女性会役員会	2/21	木	小規模事業者経営改善資金審査会
2/7	木	いみず塾「大人のための論語」	2/24	日	簿記検定試験
2/10	日	珠算・暗算能力検定試験	2/27	水	射水市産業振興研究会 ワーキンググループ
2/13	水	正副会頭会議			青年部委員長連絡会議
		青年部理事会			

## 2019年は安倍政権の真価が問われる年に

株式会社大和総研

常務取締役 調査本部副本部長

チーフエコノミスト 熊谷 亮丸

足元の日本経済は緩やかな回復軌道をたどっている。大和総研では、2019年のわが国の実質GDP（国内総生産）成長率を前年比+1.1%と予想している。日本経済は、海外経済の悪化を背景に外需寄与度が剥落（はくらく）し、在庫調整が継続することなどが悪材料となる一方で、消費増税を控えて政府が景気下支えの姿勢を強めていることや、原油安の進展などが好材料となり、緩やかな景気拡大を続ける見通しである。

ただし、19年の日本経済は「テールリスク（確率的には極めて低いものの、万が一発生すると甚大な悪影響を及ぼすリスク）」に、細心の注意が必要となる。

筆者は、こうしたテールリスクを総称して「2019年問題」と呼んでいる。大和総研のシミュレーションによれば、(1)トランプ政権の迷走、(2)中国の過剰債務問題、(3)「Brexit（英国のEUからの離脱）」を受けた欧州の混乱、(4)中東情勢緊迫化を背景とする原油高、(5)わが国の残業規制の強化に伴う個人所得の減少といったリスク要因が顕在化すると、日本の実質GDPは最悪のケースで4%程度悪化する。これは「リーマン・ショック」に匹敵するほどのインパクトである。

アベノミクスに関しては、基本的な方向性は正しいものの、従来の「第一の矢」である「大胆な金融政策」というカンフル剤に頼り過ぎている点が問題である。

1962年に米国のケネディ大統領が残した「屋根を直すのは晴れた日に限る」という有名な言葉がある。この言葉を現在の日本に当てはめれば、アベノミクスの効果などから景気の良い今こそ、(1)労働、農業、医療・介護などの分野における、いわゆる「岩盤規制」を緩和し「第三の矢（成長戦略）」を強化、(2)社会保

障制度の抜本的な改革を通じて財政規律を維持といった、やっかいな課題に正面から取り組み、30~50年程度先の未来を見据えて、中長期的に持続可能（サステナブル）な成長基盤を整備することが肝要である。

第一の「岩盤規制」の緩和という面では、今後、わが国が取り組むべき成長戦略の「宝の山」は労働市場改革である。

現在、日本のサービス業の労働生産性は米国の半分程度にすぎない。わが国ではサービス業が経済の7割程度を占めているため、仮に労働生産性を1割改善することができれば、名目GDP（国内総生産、産業計）は7%強（30兆円程度）、さらに労働生産性が米国並みに上昇する場合には、名目GDPが60%以上（260兆円弱）増加する計算となる。労働生産性の向上を実現するためには、外国人労働力の活用などを通じてダイバーシティ（多様性）を高め、イノベーション（技術革新）を加速させることが鍵になるだろう。

第二に、今後、アベノミクスが取り組みを強化すべき課題として、財政再建が指摘できる。

最終的に財政再建の成否は「社会保障制度改革の実現できるか否か」にかかっている。わが国の社会保障は「中福祉・低負担」から、徐々に「高福祉・低負担」の状態へと近づきつつある。今後は社会保障に関係する個々の改革の中身・工程をしっかりと示しつつ、制度の持続可能性にかかる不確実性を減らしていくことが不可欠である。

「大衆迎合主義（ポピュリズム）」に陥ることなく、「国民にとって耳の痛い構造改革」を果敢に断行して、持続可能な経済成長の基盤を強化することができるか？—まさしく、2019年は安倍政権の真価が問われる年になるだろう。

## 公共事業に依存しない三和建設

人を大切にする経営学会

会長 坂本 光司

国内建設業は、大手ゼネコン5社、準大手中堅ゼネコン50社、そして中小のゼネコン2万社をはじめとして、全国に約50万社が存在する。

業界のイメージは「斜陽産業」「時代遅れ産業」「過重労働産業」「3K職場」「違法建築業界」「万年人手不足産業」「男性産業」「品質偽装産業」「公共工事依存産業」「談合産業」「労災隠し産業」「社会保険未加入産業」と揶揄（やゆ）されることも多く、課題の多い産業の一つである。

こうした業界にあって、これが同じ建設業なのかと思うユニークな企業がある。その企業は大阪市淀川区に本社を有する三和建設株式会社といい、社員数は125人、年商は100億円強で、中堅ゼネコンに位置する企業である。

同社の創業は1947年、現社長の森本尚孝氏は4代目である。同社が注目されている理由は多々あるが、あえて二つ挙げるならば、一つは過去も現在も、業界の多くが依存する公共工事にはほとんど頼らず、独自の力で民間市場を創造している点である。ちなみに、現在の主事業は、工場や倉庫・オフィスビルの設計施工であるが、とりわけ業界で評価の高い工事が、食品工場の設計・施工である。

そして同社が注目されているもう一つの要因は、その経営の考え方・進め方であり、その中核の工事・設計・施工してきた建物はもとより、それ以上に人を重視し、人本主義経営を愚直に実践してきた経営姿勢である。

このことは、同社の存在目的・使命である経

営理念にも明確に示されている。経営理念は「つくるひとをつくる」である。その意味は「建物をつくる」「技術をつくる」「価値をつくる」「お客さまをつくる」「信頼をつくる」「社会をつくる」「仲間をつくる」「会社をつくる」「歴史をつくる」。そして「すべてはひとがつくりまします。だからつくるひとをつくりまします」とある。

理念経営を実践するため、いい社風の醸成や、社員が誇りと連帯感を高めるための経営の実行や実施は言うまでもないが、社員一人一人の働きがいを高める、きめ細かい諸制度が、あらゆる場面でちりばめられている。

先日、機会があって同社を訪問したが、社内には「いい風」が流れ、理念が見事に実践されていることを垣間見ることができた。

余談ではあるが、業界の入社後3年間の大卒社員の離職率は約3割だが、同社では1割以下なのだそう。



金融関係

◆主な公的融資制度の利率◆

(平成31年2月1日現在)

資金名		利率(年)
日本政策金融公庫 (国民生活事業)	マル経融資	1.11%
	普通貸付	1.16~2.75%
富山県	小口事業資金	1.80%以内
射水市	中小企業振興資金	1.80%以内

◆日本政策金融公庫 定例相談会◆

【相談会場】 射水商工会議所 1階相談室

アドバイザー等	開催日時
<p><b>高岡支店国民生活事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小口の事業資金融資</li> <li>●創業支援・地域活性化支援</li> <li>●国の教育ローン、恩給・共済年金等を担保とする融資</li> </ul>	随時受付中
<p><b>富山支店中小企業事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中小企業への長期事業資金の融資</li> <li>●国の中小企業政策に基づいた支援</li> </ul>	

◎ご利用の方は、事前に本所（TEL.84-5110）までご予約をお願いします。

公益共催セミナー

- 日時** 平成31年 3月7日(木)  
14:00~15:30
- 場所** 高岡商工ビル4F 研修室
- 演題** 「労働基準法改正に伴う生産性向上と健康経営」
- 講師** 社会保険労務士法人シグマ総合事務所  
代表 赤澤 将氏
- 入場料** 無料  
(事前に必ず電話にて申込みをお願いします)

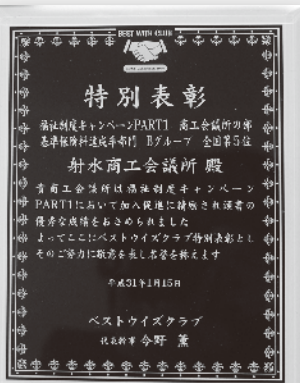
公益社団法人 高岡法人会

申込・問合せ先 TEL.23-8855 FAX.26-1216

地元消費で、街を元気にしよう!

~楽しいお買い物は地元の商店で~

ベストウィズクラブ  
特別表彰を受賞



射水商工会議所が生命共済加入促進について  
優秀な成績を取めたことにより、  
特別表彰を受賞しました。

今後も、春・秋とキャンペーンを行いますので  
会員事業所の皆様は今後とも宜しくお願い致します。

このコーナーは本所にお越しいただいた会員企業の皆様を、当広報誌を通じて広く紹介することで、会員相互の交流や販路拡大に繋げ、併せて本所業務を紹介することで、更なる利用促進を図ろうという企画です。

今回はクリスマス音楽教室の諸見里安弘（もろみさと やすひろ）さんにお話をお伺いしました。

同事業所は平成25年よりピアノを中心としたフルート等の楽器のレッスンを通し、音楽の楽しさを日々地域の子供達から大人の方々に伝えていらっしゃいます。



年末調整の相談にきました。

クリスマス音楽教室

代表 諸見里安弘

高岡市中曾根2112

TEL.080-3098-5786

### 来所の目的を教えてください。

税務署に提出する従業員の年末調整の手続きの相談、確定申告の事前確認に来ました。

### 税務相談について、どのようなことを感じていらっしゃいますか。

日頃から経理に関し気になる点を相談しており、いつも職員の方には親切に明るくサポートして頂き、「頼れる相棒のような存在」だと感じております。

特に年末調整や確定申告の際には毎年お世話になっています。

会計ソフトのブルーリターンの操作を丁寧にご指導頂き、少しずつ経理に関する理解も深まり、スムーズに行えるようになりました。時に厳しいアドバイスも頂きますが、自分の事業について真剣に考えて頂き、安心して相談をさせて頂いております。これからも税務のみならず、日々の経営力の向上に関してもアドバイスを頂きたいと思っています。

### 取材を終えて

「ピアノは脳の働きを活性化させるとも素敵な楽器です。一人一人に笑顔で長く楽しくピアノを続けて頂き、音楽を通して子供達の笑顔と情操を育むことで地域に貢献していきたい。」と語る諸見里さんの優しい笑顔に、私たちの気持ちも穏やかになりました。お子様やご自身のピアノやフルートのレッスンをお考えの方はぜひ相談してみたいと思います。

突撃！  
インタビュー

## 決算・確定申告相談窓口のご案内

期間 2月18日(月)～3月15日(金)

会場 射水商工会議所

午前9時～午後4時30分（土日・祝日は除きます）

1階確定申告相談室

※申告所得税及び復興特別所得税の提出及び納期限は3月15日(金)

※消費税及び地方消費税の提出及び納期限は4月1日(月)

### 【税務相談員による相談日程】

時間：午後1時30分～午後4時

月日	相談員	月日	相談員
2月21日(木)	中野 岳 税理士	3月7日(木)	荒谷 進 税理士
2月26日(火)	加治 功 税理士	3月8日(金)	後谷誠二 税理士
3月4日(月)	穴田 茂 公認会計士	3月13日(水)	姫野拓雄 税理士
3月5日(火)	北山 剛 税理士	3月15日(金)	福田千尋 税理士
3月6日(水)	北山 勲 税理士		

※相談は随時受け付けておりますが、事前相談予約により待ち時間無くスムーズに税務相談が行えます。  
(相談時間は1回30分程度)